

2019 年度(令和元年度) 事業報告書

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 植物工場研究会

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業(部)名	事業内容	実施内容
企 画 理 事 会		<p>【第1回】 2020 年 3 月 18 日 13:30~15:00 に予定していたが新型コロナウイルスの影響により延期、その後緊急事態宣言の発令により開催が困難となったため書面または電磁的方法による表決に変更し、5 月 8 日にメールを配信、同 20 日に決議があったものとみなされた。</p> <p>定数 22 (定足数 11)</p> <p>出席数 21 名 (うち書面表決 21 名)</p> <p>第 1 号議案 2019 年度事業報告書(案) (総会付議事項)</p> <p>第 2 号議案 2019 年度活動計算書類(案) (総会付議事項)</p> <p>第 3 号議案 2020 年度事業計画書(案) (総会付議事項)</p> <p>第 4 号議案 2020 年度活動予算書(案) (総会付議事項)</p> <p>第 5 号議案 理事の選任</p> <p>第 6 号議案 理事の再任</p> <p>第 7 号議案 理事長・副理事長の選任</p> <p>第 8 号議案 監事の選任(案) (総会付議事項)</p> <p>第 9 号議案 特別会員の入会について</p> <p>第 10 号議案 2020 年度 定期総会招集及び提出議案について</p>
総 会		<p>【定期総会】 2019 年 6 月 14 日 13:30~15:20</p> <p>社員総数 190 (定足数 94)</p> <p>出席数 104 名 (うち表決委任者 32 名、書面表決者 38 名)</p> <p>第 1 号議案 2018 年度 事業報告書(案) 承認の件</p> <p>第 2 号議案 2018 年度 活動計算書類(案) 承認の件、並びに監査報告</p> <p>第 3 号議案 2019 年度 事業計画書(案) 承認の件</p> <p>第 4 号議案 2019 年度 活動予算書(案) 承認の件</p> <p>以上の全議案について原案の通り承認された</p>
研 究 開 発 事 業	<p>■農林水産省の平成 30 年度予算による「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」に新たに応募し、採択され、平成 30 年度より事業を進めている。平成 30 年度は初年度となり、令和 2 年度で事業が完了となる。</p> <p>■その他</p> <p>■委員会</p>	<p>「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」は(株)大仙(経済界代表)が総括代表者となり、農事組合法人大野水耕生産組合(農業界代表)、千葉大学、NPO 植物工場研究会の参加のもと平成 30~令和 2 年度の 3 年計画で実施中である。「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」の令和元年度事業補助費は総額 29.94 百万円(内 NPO 植物工場研究会分は労務費が中心で 1.2 百万円)で 50%の補助金給付となる。当会は(株)大仙などへ協力し、実証作業等のサポートを行う。</p> <p>本事業はハウス内上部に存在する熱エネルギーを収集・蓄熱して、夜間の暖房の補助熱源として利用する暖房システムの実用化を目標とし、エアコンとの併用により、より効果的に利用することを特徴としている。重油などの消費量を減らし、暖房コストの低減と温室効果ガスの排出削減を図ることを目的として、本年度は実証状態における各種データの取得を実施する。</p> <p>米国 FFAR の国際プロジェクトへの参加検討および準備にあたり、国内企業とのコンソーシアム形成準備を実施した。最終的には FFAR のプロジェクトへの参加は見送ったが、植物フェノタイピングと人工知能を活用した次世代型植物工場および育種に関する研究・開発を継続的に実施していく予定。また、JST および JICA プロジェクトなど太陽光発電を用いた植物工場プロジェクトの連携準備を開始した。</p> <p>1) 植物照明 LED 調査研究委員会</p> <p>・2015 年 10 月 5 日発足。人工光型植物工場における LED 照明に関する基本的事項を調査研究対象とする。LED 照明に関する用語整理を当面の業務とする。委員は、LED 関連メーカー企業、LED 植物工場企業、大学、研究所、および委員会が必要とした者で構成される。委員は、NPO 植物工場研究会関係者などには限定しない。2019 年度は第 1 回 2019 年 4 月 5 日、第 2 回 2019 年 6 月 12 日、第 3 回 2019 年 8 月 7 日、第 4 回 2019 年 10 月 11 日、第 5 回 2019 年 12 月 12 日に開催。LED ランプの仕様と光の測定法に関する基準を提案し、ウェブサイトで公開。活動は活発である。(委員構成別紙)</p>

事業(部)名	事業内容	実施内容
		<p>2) 生産性向上調査研究委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年5月9日発足。生産性の定義とその利用・向上に関する調査研究を対象とする。第1回委員会以降これまで通算11回の委員会を開催。2019年度は第1回2019年4月17日、第2回2019年7月3日、第3回2019年10月2日、第4回2020年1月21日に開催。生産性の定義と計算法に関する提案書(和文および英文)を作成し、まずは和文の公表を開始した。また、生産性などに関するアンケート実施もスタートした。活動は活発である。(委員構成別紙)。
企画・国際部	1) 英語での講義・見学案内	英語の講義・見学案内: 講義付き見学の開催。諸外国政府・企業・組織との団体・個別ディスカッション及び見学案内。諸外国の状況を把握するため意見交換も実施。
	2) 海外向け広報	<ul style="list-style-type: none"> ・海外メディアの取材対応及び記事配信、海外政府・企業・機関対応など。NPO 植物工場研究会や調査研究委員会の成果、アンケートを英語で公表 ・海外カンファレンス(中国・北京(2019International Symposium on Environment Control Technology for Value-added Plant Production (ECTV2019))、厦門(International Symposium on the Development of Plant Factory Industry)、オランダ・ワーゲニンゲン(Verti Farm 2019)、シンガポール(Asia Pacific Agri-Food Innovation)および国内での講演 ・ソーシャルメディアによる英語情報発信(会員企業の紹介、イベント案内・報告、ニュースなど)、ウェブサイトおよびメール配信による英語の国際研修および講義付き見学案内、ニュース&イベント、勉強会、書籍や記事などに関する情報発信 ・ウェブサイトリニューアルの企画・検討・実施: 2019年8月日本語版、2020年3月英語版を公開(予定)
	3) 英語での人工光型植物工場の国際初級研修	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年9月23日~27日初級研修“Five-day Introductory Training Course on Plant Factory with Artificial Lighting (PFAL)”を開催。 千葉大学・NPO 植物工場研究会・関連企業の講師による植物工場における理論と実践・事業に関する講義と植物工場の見学会を実施。世界約10か国(シンガポール、フィリピン、トルコ、韓国、イギリス、米国、インド、タイ、台湾、マレーシアなど)から約30名が参加。昨年度・今年度実施された研修参加者からのアンケート及び問い合わせ等による要望により、次年度以降は初級研修だけではなく、中級・上級研修の実施も検討。 ・2019年8月27日 北京にて研修を実施(中国農業大学などと連携)
	4) 経済産業省関東経済産業局「ローカルイノベーション支援事業」	<p>経済産業省の委託事業の実施: 令和元年度地域中核企業ローカルイノベーション支援事業次世代スマート植物工場の普及およびグローバル展開支援事業(事業予算総額約13.3百万円)</p> <p>中核企業の技術強化及びグローバル展開に向け、国内外のニーズ・シーズ調査・分析をベースに、中核企業の技術開発支援や国際事業の展開支援などを実施</p>
	5) 国際カンファレンス・展示会業務	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外展示会への国内外企業出展促進業務(展示会主催者とのパートナーシップ: 6月米国ニューヨーク Indoor AgTech Innovation Summit、8月中国北京 2019 International Symposium on Environment Control Technology for Value-added Plant Production (ECTV2019)、9月オーストラリア GLOBAL TABLE presents SEEDS & CHIPS、11月東京アグロ・イノベーション2019、シンガポール Asia Pacific Agri-Food Innovation) ・海外展示会への出展・NPO 植物工場研究会ブースにて会員企業と共同出展・国際カンファレンスにおける日本企業のプレゼンテーション枠交渉(6月米国・ニューヨーク Indoor AgTech Innovation Summit、8月中国・北京 2019 International Symposium on Environment Control Technology for Value-added Plant Production (ECTV2019)、10月オランダ・ワーゲニンゲン Verti Farm 2019、11月シンガポール Asia Pacific Agri-Food Innovation) ・カンファレンス・展示会にて講演・プレゼンテーション(会員へのベネフィット枠の獲得、企業・研究機関などとのネットワーキング)
	6) コンサルティング事業	海外プロジェクトへの参画・支援、国内企業の海外展開促進・国際連携に向けた活動
	7) 海外研修生	企業、学生、起業希望者からのインターンシップ要請への対応。2020年度の受け入れ準備を実施
	8) 支援事業	国内外ビジター対応(ビジネスマッチング、コンサル要請対応、国内・海外市場視察アレンジメント、研修プログラム要請多数、その他)に伴う会議および見学対応

事業(部)名	事業内容	実施内容																																																																																												
	9) 国際連携	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の政府機関および関連組織との連携活動に向けた準備 ・国際研究プロジェクトにおける連携に向けた準備 																																																																																												
	10) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国内向け海外情報の発信: 電子媒体による配信、各種講演会での講演など ・海外会員誘致による新規入会 ・海外企業と国内会員企業のマッチングおよび連携促進 ・NPO 植物工場研究会企画・国際部ニュースの配信 ・研究および普及活動に関する国際連携の企画・検討・実施 ・海外拠点スタッフの配置開始 																																																																																												
支援事業	1) 拠点事業として施設管理・保守および運営管理の支援業務	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備 ・共有施設の維持管理 ・共有施設の運用調整 ・棟別の月次の消費電力の現地検針 ・令和元年度に(株)大林組と千葉大学との間で新たな共同研究契約が締結された。その共同研究を実施するために約 480 m²の新たな人工光型植物工場が研修棟 A/B 裏手に建設される事となった。NPO 植物工場研究会は当該人工光型植物工場の建設に関して、各種のサポートや調整を担当しており、建設工事は 2 月～6 月に実施され、6 月中旬の完工を予定している。 																																																																																												
	2) 植物工場見学者受入 見学のみコース 講義付見学コース	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">参加者数</th> <th colspan="3">NPO 窓口</th> <th rowspan="2">コンソ扱い</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>見学のみ</th> <th>講義付</th> <th>小計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4 月</td><td>150 人</td><td>75 人</td><td>225 人</td><td>24 人</td><td>249 人</td></tr> <tr><td>5 月</td><td>363 人</td><td>93 人</td><td>456 人</td><td>20 人</td><td>476 人</td></tr> <tr><td>6 月</td><td>273 人</td><td>72 人</td><td>345 人</td><td>11 人</td><td>356 人</td></tr> <tr><td>7 月</td><td>308 人</td><td>185 人</td><td>493 人</td><td>11 人</td><td>504 人</td></tr> <tr><td>8 月</td><td>220 人</td><td>35 人</td><td>255 人</td><td>13 人</td><td>268 人</td></tr> <tr><td>9 月</td><td>497 人</td><td>51 人</td><td>548 人</td><td>4 人</td><td>552 人</td></tr> <tr><td>10 月</td><td>426 人</td><td>128 人</td><td>554 人</td><td>27 人</td><td>581 人</td></tr> <tr><td>11 月</td><td>351 人</td><td>44 人</td><td>395 人</td><td>15 人</td><td>410 人</td></tr> <tr><td>12 月</td><td>304 人</td><td>204 人</td><td>508 人</td><td>24 人</td><td>532 人</td></tr> <tr><td>1 月</td><td>147 人</td><td>69 人</td><td>216 人</td><td>6 人</td><td>222 人</td></tr> <tr><td>2 月</td><td>232 人</td><td>45 人</td><td>277 人</td><td>26 人</td><td>303 人</td></tr> <tr><td>3 月</td><td>11 人</td><td>0 人</td><td>11 人</td><td>9 人</td><td>20 人</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,282 人</td><td>1,001 人</td><td>4,283 人</td><td>190 人</td><td>4,473 人</td></tr> <tr><td>月平均</td><td>274 人</td><td>83 人</td><td>357 人</td><td>16 人</td><td>373 人</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">2020.3.31 現在</p> <p>注記) 2 月は新型コロナウイルスへの不安から、見学のキャンセル、参加者減が多数見られた。3 月は一般の見学受け入れを中止した。</p> <p>2019 年度海外からの見学受入(2020.3.31 現在): 外国人合計 1,868 人(見学 1,546 人/講義付き 322 人)</p> <p>2018 年度海外からの見学受入: 外国人合計 1,781 人(見学 1,368 人/講義付き 413 人)</p>	参加者数	NPO 窓口			コンソ扱い	合計	見学のみ	講義付	小計	4 月	150 人	75 人	225 人	24 人	249 人	5 月	363 人	93 人	456 人	20 人	476 人	6 月	273 人	72 人	345 人	11 人	356 人	7 月	308 人	185 人	493 人	11 人	504 人	8 月	220 人	35 人	255 人	13 人	268 人	9 月	497 人	51 人	548 人	4 人	552 人	10 月	426 人	128 人	554 人	27 人	581 人	11 月	351 人	44 人	395 人	15 人	410 人	12 月	304 人	204 人	508 人	24 人	532 人	1 月	147 人	69 人	216 人	6 人	222 人	2 月	232 人	45 人	277 人	26 人	303 人	3 月	11 人	0 人	11 人	9 人	20 人	計	3,282 人	1,001 人	4,283 人	190 人	4,473 人	月平均	274 人	83 人	357 人	16 人
参加者数	NPO 窓口			コンソ扱い	合計																																																																																									
	見学のみ	講義付	小計																																																																																											
4 月	150 人	75 人	225 人	24 人	249 人																																																																																									
5 月	363 人	93 人	456 人	20 人	476 人																																																																																									
6 月	273 人	72 人	345 人	11 人	356 人																																																																																									
7 月	308 人	185 人	493 人	11 人	504 人																																																																																									
8 月	220 人	35 人	255 人	13 人	268 人																																																																																									
9 月	497 人	51 人	548 人	4 人	552 人																																																																																									
10 月	426 人	128 人	554 人	27 人	581 人																																																																																									
11 月	351 人	44 人	395 人	15 人	410 人																																																																																									
12 月	304 人	204 人	508 人	24 人	532 人																																																																																									
1 月	147 人	69 人	216 人	6 人	222 人																																																																																									
2 月	232 人	45 人	277 人	26 人	303 人																																																																																									
3 月	11 人	0 人	11 人	9 人	20 人																																																																																									
計	3,282 人	1,001 人	4,283 人	190 人	4,473 人																																																																																									
月平均	274 人	83 人	357 人	16 人	373 人																																																																																									

事業(部)名	事業内容	実施内容																																																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>NPO 窓口</th> <th>コンソ扱い</th> <th colspan="4">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011年6月～3月</td> <td>4,172人</td> <td>855人</td> <td colspan="4">5,027人</td> </tr> <tr> <td>2012年度</td> <td>5,878人</td> <td>555人</td> <td colspan="4">6,433人</td> </tr> <tr> <td>2013年度</td> <td>4,787人</td> <td>629人</td> <td colspan="4">5,416人</td> </tr> <tr> <td>2014年度</td> <td>4,898人</td> <td>350人</td> <td colspan="4">5,248人</td> </tr> <tr> <td>2015年度</td> <td>3,918人</td> <td>180人</td> <td colspan="4">4,098人</td> </tr> <tr> <td>2016年度</td> <td>4,167人</td> <td>766人</td> <td colspan="4">4,933人</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>4,527人</td> <td>535人</td> <td colspan="4">5,062人</td> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>4,466人</td> <td>134人</td> <td colspan="4">4,600人</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>4,283人</td> <td>190人</td> <td colspan="4">4,473人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>41,096人</td> <td>4,194人</td> <td colspan="4">45,290人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">2020.3.31 現在</p>								NPO 窓口	コンソ扱い	合計				2011年6月～3月	4,172人	855人	5,027人				2012年度	5,878人	555人	6,433人				2013年度	4,787人	629人	5,416人				2014年度	4,898人	350人	5,248人				2015年度	3,918人	180人	4,098人				2016年度	4,167人	766人	4,933人				2017年度	4,527人	535人	5,062人				2018年度	4,466人	134人	4,600人				2019年度	4,283人	190人	4,473人				計	41,096人	4,194人	45,290人			
	NPO 窓口	コンソ扱い	合計																																																																																		
2011年6月～3月	4,172人	855人	5,027人																																																																																		
2012年度	5,878人	555人	6,433人																																																																																		
2013年度	4,787人	629人	5,416人																																																																																		
2014年度	4,898人	350人	5,248人																																																																																		
2015年度	3,918人	180人	4,098人																																																																																		
2016年度	4,167人	766人	4,933人																																																																																		
2017年度	4,527人	535人	5,062人																																																																																		
2018年度	4,466人	134人	4,600人																																																																																		
2019年度	4,283人	190人	4,473人																																																																																		
計	41,096人	4,194人	45,290人																																																																																		
	3)コンサルティング	日本技術の海外への導入のためのコンサルティング(1件)、養液管理に関するコンサルティング(1件)、新規事業検討のためのコンサルティング(1件)、技術開発のためのコンサルティング(1件)																																																																																			
	4)連携	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人日本植物工場産業協会との連携 日本型施設園芸産業革新化ネットワークとの連携 LED 農業への活用技術 中国農業大学との連携 																																																																																			
広報普及・人材育成事業	1)展示会への出展 植物工場の普及・啓蒙のため、展示パネルの設置、プレゼン・デモモデルの実施、パンフレット配布を行った	<ul style="list-style-type: none"> 『アグロ・イノベーション 2019』への出展 会期:11/20(水)～11/22(金)、会場:東京ビッグサイト 主催:一般社団法人日本能率協会 約 1.3 万人の見学者があった。 																																																																																			
	2)定例勉強会の開催	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> <th>NPO 会員</th> <th>一般</th> <th>学生</th> <th>計</th> <th>情報交換会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 130 回植物工場に関する知財、書籍などから学ぶ最近の情報</td> <td>5/17</td> <td>36 人</td> <td>9 人</td> <td>0 人</td> <td>45 人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第 131 回植物工場に求められること ～美味しさと健康機能～</td> <td>7/26</td> <td>42 人</td> <td>17 人</td> <td>1 人</td> <td>60 人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第 132 回植物工場における育苗と培地の問題を考える</td> <td>9/13</td> <td>58 人</td> <td>24 人</td> <td>1 人</td> <td>83 人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第 133 回気化冷却と CO2 施用について考え直す</td> <td>10/30</td> <td>41 人</td> <td>20 人</td> <td>0 人</td> <td>61 人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第 134 回今からでも、後からでも、出来る植物工場の「生産性向上」</td> <td>11/8</td> <td>53 人</td> <td>14 人</td> <td>0 人</td> <td>67 人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第 135 回人工知能を用いた植物フエノタイピングと次世代スマート植物工場～環境制御と育種</td> <td>1/23</td> <td>51 人</td> <td>31 人</td> <td>3 人</td> <td>85 人</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第 136 回植物工場における育種の可能性と方向性</td> <td>3/6 (予定)</td> <td colspan="4" rowspan="2">新型コロナウイルス対応のため次年度へ延期</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>第 137 回温室・植物工場の始まりと技術発展史、そして未来を語る</td> <td>3/27 (予定)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>281 人</td> <td>115 人</td> <td>5 人</td> <td>401 人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">2020.3.31 現在</p>							回数	開催日	NPO 会員	一般	学生	計	情報交換会	第 130 回植物工場に関する知財、書籍などから学ぶ最近の情報	5/17	36 人	9 人	0 人	45 人	-	第 131 回植物工場に求められること ～美味しさと健康機能～	7/26	42 人	17 人	1 人	60 人	-	第 132 回植物工場における育苗と培地の問題を考える	9/13	58 人	24 人	1 人	83 人	-	第 133 回気化冷却と CO2 施用について考え直す	10/30	41 人	20 人	0 人	61 人	-	第 134 回今からでも、後からでも、出来る植物工場の「生産性向上」	11/8	53 人	14 人	0 人	67 人	-	第 135 回人工知能を用いた植物フエノタイピングと次世代スマート植物工場～環境制御と育種	1/23	51 人	31 人	3 人	85 人	-	第 136 回植物工場における育種の可能性と方向性	3/6 (予定)	新型コロナウイルス対応のため次年度へ延期				-	第 137 回温室・植物工場の始まりと技術発展史、そして未来を語る	3/27 (予定)	-	計		281 人	115 人	5 人	401 人	人											
回数	開催日	NPO 会員	一般	学生	計	情報交換会																																																																															
第 130 回植物工場に関する知財、書籍などから学ぶ最近の情報	5/17	36 人	9 人	0 人	45 人	-																																																																															
第 131 回植物工場に求められること ～美味しさと健康機能～	7/26	42 人	17 人	1 人	60 人	-																																																																															
第 132 回植物工場における育苗と培地の問題を考える	9/13	58 人	24 人	1 人	83 人	-																																																																															
第 133 回気化冷却と CO2 施用について考え直す	10/30	41 人	20 人	0 人	61 人	-																																																																															
第 134 回今からでも、後からでも、出来る植物工場の「生産性向上」	11/8	53 人	14 人	0 人	67 人	-																																																																															
第 135 回人工知能を用いた植物フエノタイピングと次世代スマート植物工場～環境制御と育種	1/23	51 人	31 人	3 人	85 人	-																																																																															
第 136 回植物工場における育種の可能性と方向性	3/6 (予定)	新型コロナウイルス対応のため次年度へ延期				-																																																																															
第 137 回温室・植物工場の始まりと技術発展史、そして未来を語る	3/27 (予定)					-																																																																															
計		281 人	115 人	5 人	401 人	人																																																																															

事業(部)名	事業内容	実施内容				
広報普及・人材育成事業	3) 研修会の開催(千葉大学・NPO 植物工場研究会・日本施設園芸協会共催で実施、NPO 植物工場研究会主催で実施)		研修名	主催・農水事業	日程	人数
		1	ここから始める植物工場の基礎	NPO 主催	5/28(火)	41 人
		2	人工光型植物工場で知っておくべきことのすべて	NPO 主催	6/4(火)-6/6(木)	26 人
		3	これだけは身につけておきたい培養液管理法	農水事業	6/19(水)-6/21(金)	22 人
		4	企業的経営のノウハウを学ぶ	農水事業	7/2(火)-7/4(木)	9 人
		5	現場で自ら体得する生産管理技術	NPO 主催	①7/2(火)-7/4(木) ②8/12(月)-16(金) ③10/14(月)-18(金) ④2/6(木)-7(金) ⑤3/11(水)-3/13(金)	1 人
		6	あなたの栽培現場における最適培養液管理を共に作り上げます【培地なし】	NPO 主催	スクーリング ①8/2(金) ②11/12(火) ③1/27(月)	3 人
		7	栽培作物別研修【イチゴ】	NPO 主催	8/8(木)-8/9(金)	59 人
		8	指導者養成講座【環境制御編】	NPO 主催	8/20(火)-8/21(水)	13 人
		9	太陽光型植物工場での栽培と環境制御の実技と理論を学ぶ(全 3 回)	農水事業	① 9/18(水)-9/20(金) ② 10/23(水)-10/25(金) ③ 11/27(水)-11/29(金)	9 人
		10	栽培作物別研修【キュウリ】		9/26(木)-9/27(金)	26 人
		11	指導者養成講座【培養液編】	NPO 主催	10/7(月)-10/8(火)	16 人
		12	栽培作物別研修【葉菜類】	NPO 主催	11/14(木)-11/15(金)	18 人
		13	中規模人工光型植物工場の事業計画立案、経営のノウハウ	NPO 主催	12/3(火)-12/4(水)	15 人
		14	経営者だからわかる人工光型植物工場事業立ち上げ、経営改善のためのツボ	NPO 主催	12/5(木)	18 人
		15	指導者養成講座【病虫害対策編】	農水事業	12/17(火)-12/18(水)	9 人
		16	人工光型植物工場での栽培と環境制御の実技と理論を学ぶ(全 2 回)	農水事業	①1/15(水)-1/17(金) ②2/5(水)-2/7(金)	14 人
		17	植物生産は、植物を知ることから	NPO 主催	1/29(水)	21 人
		18	植物工場の環境制御における原理と考え方	NPO 主催	1/30(木)	18 人
		21	個別培養液フォローアップ研修	NPO 主催	随時	4 人
		22	【依頼型】出前研修	NPO 主催	随時	9 人
			計			351 人

2020.3.31 現在

農水事業: 千葉大学・NPO 植物工場研究会・日本施設園芸協会共催

事業(部)名	事業内容	実施内容																																																			
広報普及・人材育成事業	4) 広報としてのマスコミ対応	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="564 165 667 241">取材日</th> <th data-bbox="667 165 762 241">掲載日 放映日</th> <th data-bbox="762 165 879 241">媒体</th> <th data-bbox="879 165 1091 241">媒体名</th> <th data-bbox="1091 165 1522 241">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="564 241 667 353"></td> <td data-bbox="667 241 762 353">2019/ 4 月上旬</td> <td data-bbox="762 241 879 353">ウェブ</td> <td data-bbox="879 241 1091 353">The Scientific News 社他</td> <td data-bbox="1091 241 1522 353">人工光型植物工場と古在会長に関する記事が、世界の500を超えるサイトにより配信(昨年2月に続き第二弾)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 353 667 465">2019/ 5/10</td> <td data-bbox="667 353 762 465">2019/ 5/10</td> <td data-bbox="762 353 879 465">ウェブ</td> <td data-bbox="879 353 1091 465">シンガポール政府の SNS</td> <td data-bbox="1091 353 1522 465">Ministry of the Environment and Water Resource 大臣一行の植物工場見学を写真にて報告。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 465 667 689">2019/ 6/28</td> <td data-bbox="667 465 762 689">2019/ 7/1</td> <td data-bbox="762 465 879 689">新聞</td> <td data-bbox="879 465 1091 689">朝日新聞</td> <td data-bbox="1091 465 1522 689">国内の植物工場が増加している背景や自動化・IT 化など先端技術の導入状況、コストや環境負荷状況など、現状や将来の方向性について総合的な解説を希望。国内外の植物工場を取材した記事で、国内全体の状況を説明するコメントを希望されインタビュー対応(古在会長)。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 689 667 846"></td> <td data-bbox="667 689 762 846">2019/ 7/28</td> <td data-bbox="762 689 879 846">TV</td> <td data-bbox="879 689 1091 846">「カンニング竹山の新しい人生、始めます！」 BS テレ東</td> <td data-bbox="1091 689 1522 846">八街市でトマト農家を営む研修受講生が当会で研修を受けたことについても紹介したいと要望があり資料等提供。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 846 667 958">2019/ 7/11</td> <td data-bbox="667 846 762 958">2019/ 8/6</td> <td data-bbox="762 846 879 958">メルマガ</td> <td data-bbox="879 846 1091 958">野菜ソムリエ通信 (8月配信号)</td> <td data-bbox="1091 846 1522 958">見学来場者「野菜ソムリエコミュニティ千葉」よりレポートとして記事掲載したいと要望有。メールインタビュー対応。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 958 667 1227">2019/ 7/18</td> <td data-bbox="667 958 762 1227">2019/ 9/1</td> <td data-bbox="762 958 879 1227">雑誌</td> <td data-bbox="879 958 1091 1227">「小学8年生」 小学館出版</td> <td data-bbox="1091 958 1522 1227">野菜工場で、野菜がどのように栽培されるか、どれぐらいで育って、どれぐらいの量が一度に出荷されるか、またどのように流通していくか解説した記事を掲載。野菜工場の社会的な意義、役割、研究開発中の施設の特徴、今後の展望など補足的なインタビュー依頼があり対応(山口理事長対応)。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1227 667 1339">2019/ 8/20</td> <td data-bbox="667 1227 762 1339">2019/ 10/1</td> <td data-bbox="762 1227 879 1339">雑誌</td> <td data-bbox="879 1227 1091 1339">「教育旅行(10月号)」公益財団法人 修学旅行協会</td> <td data-bbox="1091 1227 1522 1339">教育旅行の観点から、農業の問題点、植物工場の利点について執筆依頼有。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1339 667 1563">2019/ 8/6</td> <td data-bbox="667 1339 762 1563">2019/ 11/15</td> <td data-bbox="762 1339 879 1563">ウェブ</td> <td data-bbox="879 1339 1091 1563">「Could open source agriculture revolutionize the industry?」 Urban Ag News</td> <td data-bbox="1091 1339 1522 1563">次世代植物工場の発展に向けたオープンデータの役割に関するインタビュー対応。オープンデータの重要性、植物工場研究会の生産性向上調査研究委員会の活動、オープンデータを活用した次世代植物工場とその社会的役割などについて説明(林副理事長対応)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1563 667 1709">2019/ 11/24</td> <td data-bbox="667 1563 762 1709">2019/ 7/22</td> <td data-bbox="762 1563 879 1709">TV</td> <td data-bbox="879 1563 1091 1709">「ZDF の番組「Planete」用」 ドイツ国営テレビ</td> <td data-bbox="1091 1563 1522 1709">農業従事者の高齢化、人手不足が深刻化し、地球温暖化などによって天候不順が加速している現代にあつて、農業の未来はどうあるべきか？古在会長インタビュー対応。</td> </tr> </tbody> </table>	取材日	掲載日 放映日	媒体	媒体名	内容		2019/ 4 月上旬	ウェブ	The Scientific News 社他	人工光型植物工場と古在会長に関する記事が、世界の500を超えるサイトにより配信(昨年2月に続き第二弾)	2019/ 5/10	2019/ 5/10	ウェブ	シンガポール政府の SNS	Ministry of the Environment and Water Resource 大臣一行の植物工場見学を写真にて報告。	2019/ 6/28	2019/ 7/1	新聞	朝日新聞	国内の植物工場が増加している背景や自動化・IT 化など先端技術の導入状況、コストや環境負荷状況など、現状や将来の方向性について総合的な解説を希望。国内外の植物工場を取材した記事で、国内全体の状況を説明するコメントを希望されインタビュー対応(古在会長)。		2019/ 7/28	TV	「カンニング竹山の新しい人生、始めます！」 BS テレ東	八街市でトマト農家を営む研修受講生が当会で研修を受けたことについても紹介したいと要望があり資料等提供。	2019/ 7/11	2019/ 8/6	メルマガ	野菜ソムリエ通信 (8月配信号)	見学来場者「野菜ソムリエコミュニティ千葉」よりレポートとして記事掲載したいと要望有。メールインタビュー対応。	2019/ 7/18	2019/ 9/1	雑誌	「小学8年生」 小学館出版	野菜工場で、野菜がどのように栽培されるか、どれぐらいで育って、どれぐらいの量が一度に出荷されるか、またどのように流通していくか解説した記事を掲載。野菜工場の社会的な意義、役割、研究開発中の施設の特徴、今後の展望など補足的なインタビュー依頼があり対応(山口理事長対応)。	2019/ 8/20	2019/ 10/1	雑誌	「教育旅行(10月号)」公益財団法人 修学旅行協会	教育旅行の観点から、農業の問題点、植物工場の利点について執筆依頼有。	2019/ 8/6	2019/ 11/15	ウェブ	「Could open source agriculture revolutionize the industry?」 Urban Ag News	次世代植物工場の発展に向けたオープンデータの役割に関するインタビュー対応。オープンデータの重要性、植物工場研究会の生産性向上調査研究委員会の活動、オープンデータを活用した次世代植物工場とその社会的役割などについて説明(林副理事長対応)	2019/ 11/24	2019/ 7/22	TV	「ZDF の番組「Planete」用」 ドイツ国営テレビ	農業従事者の高齢化、人手不足が深刻化し、地球温暖化などによって天候不順が加速している現代にあつて、農業の未来はどうあるべきか？古在会長インタビュー対応。	2020.3.31 現在
	取材日	掲載日 放映日	媒体	媒体名	内容																																																
		2019/ 4 月上旬	ウェブ	The Scientific News 社他	人工光型植物工場と古在会長に関する記事が、世界の500を超えるサイトにより配信(昨年2月に続き第二弾)																																																
	2019/ 5/10	2019/ 5/10	ウェブ	シンガポール政府の SNS	Ministry of the Environment and Water Resource 大臣一行の植物工場見学を写真にて報告。																																																
	2019/ 6/28	2019/ 7/1	新聞	朝日新聞	国内の植物工場が増加している背景や自動化・IT 化など先端技術の導入状況、コストや環境負荷状況など、現状や将来の方向性について総合的な解説を希望。国内外の植物工場を取材した記事で、国内全体の状況を説明するコメントを希望されインタビュー対応(古在会長)。																																																
		2019/ 7/28	TV	「カンニング竹山の新しい人生、始めます！」 BS テレ東	八街市でトマト農家を営む研修受講生が当会で研修を受けたことについても紹介したいと要望があり資料等提供。																																																
	2019/ 7/11	2019/ 8/6	メルマガ	野菜ソムリエ通信 (8月配信号)	見学来場者「野菜ソムリエコミュニティ千葉」よりレポートとして記事掲載したいと要望有。メールインタビュー対応。																																																
	2019/ 7/18	2019/ 9/1	雑誌	「小学8年生」 小学館出版	野菜工場で、野菜がどのように栽培されるか、どれぐらいで育って、どれぐらいの量が一度に出荷されるか、またどのように流通していくか解説した記事を掲載。野菜工場の社会的な意義、役割、研究開発中の施設の特徴、今後の展望など補足的なインタビュー依頼があり対応(山口理事長対応)。																																																
	2019/ 8/20	2019/ 10/1	雑誌	「教育旅行(10月号)」公益財団法人 修学旅行協会	教育旅行の観点から、農業の問題点、植物工場の利点について執筆依頼有。																																																
	2019/ 8/6	2019/ 11/15	ウェブ	「Could open source agriculture revolutionize the industry?」 Urban Ag News	次世代植物工場の発展に向けたオープンデータの役割に関するインタビュー対応。オープンデータの重要性、植物工場研究会の生産性向上調査研究委員会の活動、オープンデータを活用した次世代植物工場とその社会的役割などについて説明(林副理事長対応)																																																
2019/ 11/24	2019/ 7/22	TV	「ZDF の番組「Planete」用」 ドイツ国営テレビ	農業従事者の高齢化、人手不足が深刻化し、地球温暖化などによって天候不順が加速している現代にあつて、農業の未来はどうあるべきか？古在会長インタビュー対応。																																																	
	5) NPO 植物工場研究会 ニュース配信	<ul style="list-style-type: none"> ・No.91 ……日本生物環境工学会関東支部講演会のお知らせ ・No.92 ……日本植物工場産業協会セミナーのお知らせ ・No.93 ……植物工場にJAS 品質管理認証のお知らせ ・No.94 ……新ホームページ公開のお知らせ ・No.95 ……日本生物環境工学会開催 第 30 回 SHITA シンポジウム ・No.96 ……農業関係者向けビジネス交流会のご案内 																																																			